栄華物語 五 六

うらしの別
かゝやく方壺

WA 7
(3)
283

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

教育博物館印
明治十三年七月廿一日購求

# 栄花物語

五 うらくに北目られ
六 かしやく放法か

教育博物館
類國史
屬雜史
冊二十一
函六
五
二
一

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

はこ忍よひのまてなきたとゝめかしさて今ハ
いてけせ給へ日暮ぬくとせめのゝしまゐせ
とすへてやかくもいふへすゝ人物紀とし給奏せ
さすれはなとてけゝへきことゝをあらせ堂ゝせ
給まと乃ミ志さりは宣旨ゝ給ふかくてこれ日
をくれぬまは内大臣殿故殿こよひ給そひそゝ
いてさせ給へとおもし称んせ給ふ給はしに
やそあらの人さけの里いひのゝしりつまと表中
ハかりすし伴ミしう称いりすれハ給をちの的明
ちの里と給やもに人二三人してぬすまれおけせ
給清心のうちは大殿給ふてけせ給其志るしかや

ことなくいくさせ給ぬそれよ里本懐にまいり給
あるは月あのきれとこれころハいみしうこゝろ
ひれもそ乃ほとそうしと覚しもの里おけし
まい清るに東の山ちのまてハおりさ珍ゝまひそ
くまくと目をいふ物給ふ本れまより出ゝある月
給しまへまて車勅婆ゝ紀ぬきいとおほかゝ中
にこれハこそれ此比れことそうしされハすゝし
志ろうゝゆまとそのおりかく人ゝあまたを乃し
給しのはいつまかのとゝ給つゝろ乃ゝ条りよう
せ給へりそこまてゝ給つをいひ清くをかしまろ
ひなりせ給けるひ母おとゝろきて山の中れ為をゝ

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

中納言もあるけしき志侍り浦ハすべく侍ふらは
ぬよしをそうせさせれもあるましきことなり文
をかゝへくかくさくまつりてぬりこめをあけて
くゝまの内なとも見よとある宣旨し幾望ま
そふ御ぬりこめあを侍りもんみやさりおもし海
せと檢非遠使申せもいまもまちなしとくさる
るく本了なしたてあさまりかるけまにくおも
志ゆきせてけひ御しとを乃ゝあをあらはえをい
もぬ人くしくこのぬりこめをまりけ志るをとを
あさ御しうゆしくふうしさも世中ゆかくある
わさましこそ何りけれとめをくれんもまとひく

なるゝさまいてこす中納言も我にをあらぬさま
まてうもすひ乃清なし御しけしぬきなと記給ひて
あさ御しくく升たまるまハ人くうしこまりてち
りうもえまつりよらぬまこ乃てれあやしのをれ
とをいりこゝれて志えくうけしきともそ御さ海
志ういりしきまてあけ為れとも愛ましおもせぬ
よしはそうせ御寸出家しゝるありさうまてを
世ゝ今ハ都の内はなるへきにあらすよくく
御されくと宣旨志幾りなりけひ御しとをり内
ハなくくいりしうおをひなりしまゝ承するに
おもせ孫もいとあさまし幾ことうして浦なしかて

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

せめ申せもすらなくていて御せ給ふに松きこ
いみうしろひきあて御せ給へるしこくかま
へくぬくかく志こそまつりて御車にかうし橘
こきひとつもりをふくろに入こむしろもわれ
ゆるまに粟給文此御方をいとかうしけなく御か
せと文乃御まへもし小乃かたもつてきこち御へ
まいちりく御車よせてのらせ給ふもし小此方
取りて御こしをいたきて御こ乗て乃らせ御へも
母小方そてをつとゆらへて取りてのらんと給り
とそうせさせれもいと後なき事なり引ものち
てとあまとしもなき給へ知りたみし寸当山御き

まていりむしくとたしのりにのり給へも伴り
はせんすら聞くて御車ひきいたしつ長徳二年
四月廿四日なりけり帰取ゆ御しれ成られ
はひつしゆりれりたに御しし寸中納言殿
ハいほを乃かた所まはたんも乃かた乃こちより
とていぬ外さまに行もまゐる御らるまゐきいつる
御しふこやは御もゆこしこ御て御うあまに
成所ぬとそうせれも御れ文ハたしにをおりし
御ゆくらんをれをかくをれ行をもせこそまつる
車とおりしつけく洞こりまさせ給へも志乃
ひさせ給昔乃長恨寺の抱りたりなとをかやうな

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

的石を御まもとれかうらしく
心そおかされけり中納言殿を堂ひ乃屋ゆりの霧
きくおほされきれ也
御をこそはみやこ乃ありて堂ひ孫せめ
うこてつゆけきくさ海くらかれ
かくくしまゝたるしつきぬまは國の見公家
れ御御見よりおほしすゝこて御かうまつる
車おほかり中納言は心乃あいきやうつき給へ
まゝ為れもいみしうそほかうまつりけるおりし
つ紀ぬれをけふやを都へかりまつりまいとしん
なそ世明る御何りさまの心ゆかしさまゝあを

とをまゐくいきたりけるとをまけといふとゝ
めて御心に志さかゝ色といひをさく我也乃ありに
なりたり海にをあるへきさ海にしらひすへ
寄て海つり城きて御とを此檢非遣使也もかへり
来りぬいとなるかなりつる程乃御供によそく
乃人をあらまにうましう思ふめりまつきの悪
きあし給そいうしうなれなりける家まもつきも
せぬこと試おりしなけんに御ちをたゝ皇りて
いきて堂ゝあらぬるまのゝおりし志ゝ家ゝにを
かりしうなむいりまよりをたし海よりもうち
御ゝ氏御つりひ志氏里てまいるまゝ心乃方を其

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

いつる程を河それよりかしあさ海しをんうく
ゆめのやうなる事にはをあるかれとつきもせを
おもひしなけるなれは前の御ぶちにをもり海
とかをこよなくちかしと聞つれはこのをしかり
つる抱をとゞ河をとかりとを母小方をおも
すへ衆清あるさ海にをあらさめりとかくのあと
乃おもひにいりし義よりかしうしかそうたれかも
やとをいもんとをもんとつきをせをおほ御ゆる板
をこの清るを越後守平親信と以ふ人の子
いとあまた河ゆるなりて右馬助たりよしと
いひそうこう堂ひおもひかし涪従所と小めさ家く

有ゆりそれを申いて堂なりける事なりけれも
おかやけ此御ふめにうしろやを貴事ゆおかり
とそうしい給をせたりけれもら河こむいひて
ちゝかをとゝ小いきたりきれそちりけふのあそむ
いけあまふりりとゆてこゝまもきつるそおかけ
なくつきなくもあるかかとやう乃事わきらり
かとは人此こなとは此いひいけへき事まあらに
かゝ後事をえひすまち先なとこそいへ河さ海
志うんうきるをいひおく人の清むをや起
こうしなを貴をおふうき事也やとていとも
たなくいひのゝ志りけれハ河海へくまけ事ゆり

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

挟み込み物

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

さすがに思のさまにえ聞かりおわかぬにあむ今
まで学えぬなに変も世とくおほをことになむ志さ
かひはかうまろうつきよの事ふりのちなかく
御ふひきかハ見るとの御すゑに御かうま御る
つきとなんおをひさまふ御とくさまくれをれ
とをひろとを見かす志らす来らせたまとこれに
つけてをまろりしく御ほさまくきて すく御せ
給ふその聞く見えて御時すてまくあを給ふかく
ふふ程に神無月の末日あまつれ有と小東にも小
方う燎炉ぬ長にかしうおわしまともせさまふ
二位乃いのちなかさ御それ見て無わさまと

あそれむきにおいてたそやまくもうとかハ此
的順道順信明明とよろ御てつうまり後れ
御るとをまいれさまふもあらてさくらもこし
いふ所にそ屋つくりておさめなかりけるにあ
かしともをろかあかたし夜ひよるをひろに
て人まいりたれをなくくあそなとそ見御せ
給ふ御くし見を人ゆりしかといかくかもとを
に聞いりけくつき小もあらす後この御事とを
こかさへう殆させ給ふほくし乃そいま十餘日と
ふふ見て来りつきこかけりあそまされをよしく
こそみえこそまつりてまれしいまうおほされ

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

き御ことゝ覚しめせとさすがに若宮乃うきり
来しせ行へ貴母も御し合りしわり見やれ御めれ
とまもさきこの三位必てものし給ひし人の御む
すめなとを来りそ穂も九条とのし御子といふ
給ひし人なり又弁乃めれとや少輔れ命婦と以ふ
人御ましくさふ婦もなり所くなり母もなりぬ
まハ男の宮の御ありさまいとうつくしうおりし
ます母ひの御せうそこを目にまといふ御り里也
あれ母おほつかなう乃ミおりしこそ御二位此
わりこやみさくまつりにとくよの御とまいまり
宮れ御前あれまは御諸してあく里もよしまし

なり世給宮乃いとうつくしうおりしますを思ミ
まけうつくし見さくまつり給ふ御ひまはうへれ
御かれ里まれおまへ我こそハたのミましくさふ
らふましは明暮を見なるぬことは所れ御ても内
母はこれ宮をいとゆかしき物に思ひ貴こえさせ
行へもいし務給へしなとこそおよはハ申しめり
我伴りしハ覚しあさめさせ給らんおひの男ハ
さへ紀人を物をなんきりせ侍らさりけりと申
行へもこしまも母れ御かりハりてしいりてとてそ
思給こえ御せ侍まとなのことなく物さもりしき
うち母こ乃こやの御あつかひ不しもりなくあけ

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

くれそうちよりもこころ乃
なくくもり世なくまろこ
うまつりもめり女院をその
世給ふやあらん狂おくいり
の行りもめきといはやるる
えてこそいつ世間と思ひやをれうる法
よりも第のなひ芸人こをい
まろこそいみうあるまて
いをのこく風むつハリ
はをいつうんふまさ
と乃給ふすまこそひくく

はまよ乃兄給ふ御よ今まて
なをはりつくく芸一たち
いのりを作うまかうま
ゆあふこそおとこやハ生れ給ふんと思ふ
そて作うこそあこふよ
行つそあり一けいせんと思ふまつてる
おほ今を御のわをつくなわ法文ままハおち
ちるやうをやと思ふ行くこそのう
乃紀兄ひ兄よひとよ法給かさりのわて暁に
おりつり行ね文元法乃法うまりの変そく
乃うをり一法るにそおり一年世行つ明順

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

道明よろ法に所々きなり國々の御封かとめし抱
まれとものまりやりにわきまへ申し人をかけれ
をさうへ紀法さうなと抱きねなりせんなと東内
申し人ありけれは紀ぬ紀してよろろにいそかせ
さまふ文おりしゆすゐむかれはよろ法御けちひ
ことかりけこしなとはこゝろにはうへき事れ
まれ法車あくとうおほめしたるいとつく海
しく文おりしまれとなとてかなをりろごを小と
宮元法世給へはかの二位此そこのかしきこえし
るしもあまれさはとそをろともに海いらせ給ふ
人乃くちやをかゝゆしうおをへるかくて内ゝ

来らせ竹よはおほとれさうへ東法せんまいりへ
きとしおほをらうまいこれまいりかゝり殿乃法ん
あわる海此いみしうあわりこくおりしまするゝ
りきりかしかくてまいらを竹へきを女院いつか
とわり宮我いこきなりを給へはいとうつるしう
おはしますうちあまて衰にみこくまつらせ給
いせおりしうこえ法を竹へる法抱語なにとなく
物をれやかに海うさ珍竹へは海つきりを此ゝ
おほ法るしうやよろろにつくまし紀とは
おりしめ次に院ご法こいめんあわてつきせぬ法
抱語我申し法せ給りしふうへわらせ給てゝ

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

中宮みも三月もりまにそ見こむまれ給つきほと
明まは御法しを成よろ法みたほをとゝり法
射なとまりくゝ志うわきまへ申人なしらう法
りさよわまい乃さ後くゝ此法くなとりてもこひ
女院なとよりもよろ御おりしはりりきあしちも
節へもそれまでなみるまをいそ後給ふ僧那の
きこもよろ月よこのもしうはうまつりいりう
いりまとおりしわたり猶ふ御はしきあわと乃
志り法もくに御りまに当のりし紀かる那したく
あのたしゆれり見そ第女のりしうはうまつり
二位をかくと聖こくまつりて升なりしぬりをつ

きいのり申すいみしきは願乃志りしまやいと
女いたりまおとと見こ生れ女まひぬ男よたりし
後せもいとゝゆもしきまてたれ御りし女院
に法せうそこあまもうへ承そうせき後たまひて
御もりしもくまつりいとうましきことゝしこれを
女れをたりしめ法り世中へ承くこそ見られのそ
めと乃そまま寸の加法れと乃りますとゝハけふ
人此法いもひふこそとさしふくきまて世ふのく
志り申す御ゆ聖の承右をの内侍まいれまいり
あたゝハ内より御うふやしなひ河へ来れと於
おほしもしりて内の法んをくませ給つりまや

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

大殿七夜の御度法かうまつる物給内にも院にも
うれしきことなれば御しめし毎の院より里にぬあや
おほかるにかゝるぬ事とをいとこまかり宮えさせ
給へ里七日此夜をいまみや見えてまつり所とう
三位をもしめさるへ貴命ぬくる人毎ちまいに其
かと芸法よういあるへし二位もゆめをまさし見
見所してかし程こまかるへ御もしまさも一天
乃きこにこそおりしますめきよくく心こゝにも
しつき寄てまけりたまへとつゝまけいせさす又
此日たしまにを法りしにをこれ御つかひなりに
志かもたし夜まもとくさし給て衰りうまし貴

事をおかもるしいつゝ法りしまきかせなる
もやと覚しかけく家此女房よくこそほかに法ま
におもむかすかりまはれわかうや乃御世まあひ
ぬるあとしよにいうしうめてこくおりに面し法
ゆと乃く鳴絃讀書乃もの場なしうか大殿みそを
きて来らせ給へる大殿おなしき地をいときよう
かほをせさを給へるかかすらハ堂ゆまし三ことと
にこそあめきとおこ楚九條殿の法さうよりかり
此ことハ何かなむやと思ふ物りしそ乃法中に
もなをこれひとまちもんおせなりしかとそ乃
給ませるかくいふかとりし法りしまさし給て

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

わらはくそれにはちて取りくまいらせ成まいらせ
ありよりをこえてんこそいみしうおこり侍しを
小人くきあくられしかのいくさせ給しよの御
ありさまハさまりめいほくありしことやはあ
りしかば世中こそハあはれなる物ハ是なき
となまことよつきてをはる兒明くそかの御うし
まはありかさりしこはをいしはれはそちとれ
いそきたち紛へと大貳のこれ比まりしてのあら
せ給へうち君程いとおそろしうはくり御をうり
にまいりん下人かともいはふ郎んすりくり
とゆきれハきまとおほしめしてこころのとなく

笑しかりたちとまゝ世給ひくよの人かや見
さりをてのからせさまふこれ程ま二位このりさ
まそう務みはりいみしうあはれかるるとを也
かくてのからせ給を常ほの家れ御志るしゆ衰
にうきしうおりしつゝのあらせ給うちよりなまま
ハいまハおりし御う務給ぬらんとのゝいつかと
ゆち雲しさせ給十一月よのありつゝ世給ふ所の
殿仕の大納言殿みおはしつゝ世給つゝうへを
はしめてまつ里とのくうち乃人くら誘こひ
のなくこゆとしとおくしあり横なと昔みもあらせ
あはれすしあまふはりうへもなまるをきこと

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

めてたき変 明りけまとそ見てさせ給ふこうへ
の法事 試遷てきこしさせ行つゝこれも此しう
なり殆たまふよろ月ひとつなる事の也いふ
やうにしろみしさせ給もあらまにつきせもそ
みえ行せ給ふそのあろよ紀日してき事のうる
乃はりたかひ御帰殿中納言ゞれりろとをし横
をとよ氣こせ給ふれにうなしうおほさまてお
もせましうもとおかけるしまも法洞にをわし
またまひておりしを雪降しうある中納言
つゆはりあかひとしめてちりにしまる
さくらりとを見るそうなし紀

帰殿

さくらりとあるあもゆきを花とみく
おりあを種そぬれまさりまる
よ語つゆいれにきあし越さそなくくうつしせ
給いそいまもそこにし法こうこくさせんとそれ
ほしをさくけり

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

さきたる所より
むらさ紀のもとそみゆる放乃ちか
いりなりやとれ志るしなるらん
又人の家にちぬけきつるとをりひたるとあるを
花山院
ひかつるをやしのひこそ松りえ乃
かけり寸海をむことなし越思ふ
とそあるおほりまとりたるしはらそりしをなり
ぬかくく来しせ給る事長保元年十一月一日乃
車かりめ房四十人わしも六人志を清人六人
かわいみ見えりとしのへさせ給ひるまやむおや

か紀をもはしるもいまを四位又位のむすめとい
へとことにまさしひわろくかりいてあちきよけ
なしぬをはあつくはうまつらせ給へきあもあ
らすを乃貴らしうなりいてよきをえらせたま
へりさへ紀わしもなとハ女院よりかとこそまつ
らせ給へる是ハ聞りくこのこひ此まらも乃名を
内人院人宮人殿人かとやうつけあけめさせ給
るりむめきこれ御ありさまさらかるるしなきと
御しこけ丹又六寸はりまあまらせたまへり御
うちきこさせんかこなくおしけにおりし
ますゆこいとおさかかるへき極よいさしかいも

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

すこし人にしられ人の御しれ名僧なりしこの
わたりにしたしきさ海なる事あれ且つゝも
しきこゝにおもひくつかせ給へとよろ川にさ
たりをれ見申侍ゝたりやすくもまいらすけりこそ
むけ御人にしらせぬれとかるハ果報にやあらむ
しるしなとをえみぬわさかきを御いのりおをふ
けまにをせさをさまたぬくちおしさおほしなけ
衆たりかを乃まつりなるやと乃ゝ志るもよろろ
よそにおもひおかけるしもあハれかり僧都此きこ
清昭阿闍梨たりそ東ぬ御つ〇にもさふ此
見やあちの法あつひせさ務給侍ゝをり川ハ我

いけゆそとれ見まつ志るものをおほけるくもい
見しうそ中文ハ四月つこりまそいふ務給
そ乃法あり法まをしたりけるし御あしれ何わ
さまよりりしめなまるをあるゝ志衆法をさま
まそ法も貴させ給て法しあけて法こしにこそ
まけり程なと程さるへ紀御方御こそおりしゆし
られかくわかくおりしゆす程をらうふけまうつ
くしけふおりし海さんこそよのつ〇也なれやむ
ことなけくへ楚をせ給るめてたし此堂ひハ友
法か乃法しつゝひ大康子さく法情乃まへのこま
いぬなともつ〇のるゝ明ゝめとくゆりふりを

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

我ゆりしく思ひ空えさ務給つゝおりつゝなりし
ぬ御せうそくつ孫にあ里宮のうはしうおもし
まするまゝきり所しかくく七月ゐもなりぬまは
わりなきあつさ我ゐさうを乃ゐくてとし相撲ハ
東宮御覧せよとおりし我さそさせ竹て御ようい
心ことし所りへし七月七日中宮より院に空へ御せ
こまふ
くれを御つ雲井乃得とをおほつゝれ
ゆゑ見ゆりしきり御しきれもし
院よりの御ゆゑす
かけゝきのもしれたえまもて雲井にて

ゆきのひ乃宮をなれそうゐ感む
七月十余日れりとてしなりぬ穂もとゝろしくの
寸後ひ人とをまつりのつまりて左右の大ねな
此御りとまもあ此くなくたしこれ御もきを
せさ務こまふ東宮御らんまへきゆし所まは何
ことをいそうなとおりしさはくもおりし皇所ん
月日乃ま紀りまし小皇后宮まもいとしをれを
乃ゑおりしなきかゝへし

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283
ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用